

平成27年度進行管理・評価シート
 小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)
 (最終変更平成28年3月31日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 歴史的風致形成建造物等整備事業	5
4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	6
5 八幡山古郭・総構整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 小田原文学館整備活用事業	9
8 国道255号電線地中化事業	10
9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	11
10 祭礼等保存継承事業	12
11 歴史的風致形成建造物等活用事業	13
12 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	14
13 街かど博物館活用事業	15
14 なりわい交流館活用事業	16
15 伝統的工芸品産業産地組合助成事業	17
16 小田原散策マップ等作成事業	18
17 レンタサイクル事業	19
18 民俗芸能保存支援事業	20
19 無形民俗文化財記録作成事業	21
20 文化財の総合的把握・育成支援事業	22
21 伝統行事・伝統文化啓発事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定	24
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	25
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 来館者10万人を達成 小田原の清閑亭 開館から5年2ヵ月で ほか	27
⑥その他(様式1-6)		
1 職人育成推進事業	28
2 小田原城天守閣耐震改修工事	29
3 小田原産木材の活用	30
4 歴史的風致に関する意識啓発	31
5 関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議の開催(小田原)	32
6 歴史まちづくりの効果	33
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	34

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

計画実施に向けた推進体制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。
 行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みが行える仕組みとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原市歴史まちづくり協議会を年2回開催した。
 第1回協議会開催の際には、任期満了に伴う委員への委嘱式及び計画変更に向けた協議を行った。
- ・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議を年2回開催した。
 各推進会議終了後には、主な支援事業である社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)に係る各事業所管による予算等調整会議を実施した。
- ・各事業について、庁内横断的な組織である推進会議を通じ、情報共有や連携を図った。特に各事業や関連事業などの一覧を作成し「見える化」し情報共有することで、効率的な計画の推進を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会



第1回 委嘱式の様子



第1回 協議会の様子

- 第1回(平成27年5月27日開催)
- ・委嘱式(委嘱状の交付、市長あいさつ)
 - ・会長及び副会長の選出について
 - ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 - ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の変更に向けて

- 第2回(平成27年12月25日開催)
- ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
(平成27年度進行管理・評価シートほか)
 - ・歴史的風致形成建造物の指定について
 - ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の変更について

○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議



第2回 推進会議の様子



事業所管による調整会議の様子

- 第1回(平成27年4月27日開催)
- ・小田原市歴史的風致維持向上計画及び推進会議について
 - ・小田原市歴史的風致維持向上計画の推進に係る事業の進捗及び予定について
 - ・歴史的風致維持向上推進等調査の最終報告について
 テーマ「職人育成組織の実践的研修」
 - ・平成28年度以降の計画変更に向けて(新規指定及び事業追加等)

- 第2回(平成27年11月17日開催)
- ・歴史的風致維持向上計画の事業の進捗状況について
 - ・歴史的風致維持向上計画の変更について
 - ・歴史的風致維持向上計画に係る事項について(各スタッフより)

※各推進会議終了後に、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)に係る各事業所管による予算等調整会議を実施
 ※また、推進会議を中心に、本計画における啓発事業(研修や視察対応など)等を実施 (P.31・32参照)

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成18年に策定した「小田原市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。 ・特に、著しく良好な景観に寄与する建築物及び工作物の新築等の対象経費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」を活用した誘導や大規模な施設などにおいて、重点区域内における歴史的景観の保全に寄与した。 ・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。(色彩規制有) 【定量的数値】 拠点型重点区域別の景観届出件数 H27 小田原城周辺地区 9件、小田原駅周辺地区 10件、国道1号・本町南町地区 7件 計26件 ※うち景観形成修景費補助金制度によるもの 0件 拠点型重点区域別の許可済み屋外広告物数 H27 小田原城周辺地区 2件、小田原駅周辺地区 47件、国道1号・本町南町地区 15件 計64件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○重点区域内における良好な景観形成の事例【ともに小田原駅周辺地区】			
小田原駅前商業ビル(正面)	(1階の歩行空間)		
・小田原城に近接する小田原駅前にて、柱や大きな庇によるデザインの低層の建物となっており、色彩など落ち着いたものとなっている。 ・看板などについても、建物サイン名とともに集約されている。 ・歩行空間となる低層部に和風の意匠が取り入れられており、周辺の和風アーケードとともに歴史的景観を形成している。			
小田原駅東口駐車場(正面)	(小田原駅から小田原城を望む)	(室外機)	
・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城と小田原駅の間位置する建物であり、小田原駅から小田原城への眺望確保のため高さを抑えている。 ・小田原駅から見える正面(北側)を木目調ルーバーとし、東側低層部とともに可能な限り壁面緑化することで、小田原城の緑と調和するものとしている。 ・外観の色彩など現場にて色合わせ等を実施し周囲と調和するものとし、市民交流センターである1階部分の外側へバナーの設置			
※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、景観届出の対象となるものについて、対象経費の一部を補助する助成制度などを活用しながら、本市景観計画に適合するよう規制誘導を行っている。 ※本計画の重点区域内に設定している景観計画上の拠点型重点区域(3区域)において、屋外広告物条例により、広告物の地の色彩に一定の基準を設けており、新規及び継続の許可手続きの際、確認を行っている。 ※景観の重点区域以外では、景観の届出は、一定規模以上のものに限っているが、届出対象でないものについても、窓口等において、歴史的景観に寄与する意匠や色彩への誘導を行い、自主的な景観形成の取り組みを促している。			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財で、歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<保存整備> 清閑亭(西棟・玄関)について、建物の構造補強等改修工事及び電気設備、空調設備工事等の改修を行った。また、周辺散策路整備と事業調整・用地交渉等を行った。 【定量的評価】 散策路施工延長 平成25年度:75.6m終了、平成27年度:36.3m終了 計画期間累計 実施済み111.9m / 計画延長258.64m = 約43.26%(進捗率) <活用> 民間団体の自由な発想を活かすため、NPO法人へ活用を委託し、施設に関連したイベントやまち歩きを通年で実施した。回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、小田原文学館等)との回遊性を高めるポスター、それぞれの施設を紹介する葉書の作成やスタンプラリー、情報発信及びイベントを実施し、利用者の増加が図れた。 【定量的評価】 平成23年度入館者 15,969人 事業数 52事業 参加者数 12,030人 平成24年度入館者 20,777人 事業数 113事業 参加者数 11,062人 平成25年度入館者 22,324人 事業数 102事業 参加者数 13,003人 平成26年度入館者 24,190人 事業数 109事業 参加者数 12,146人 平成27年度入館者 29,007人 事業数 106事業 参加者数 16,785人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	基本的に建物等を常時活用しながら事業を行っていくため、改修工事、構造補強等工事については、活用を継続しながら段階的に行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<保存整備> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○構造補強(西棟)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○玄関改修</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○玄関石畳改修</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○空調設備</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○周辺散策路(梅林)</p>  <p>改修前</p>  <p>改修後</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○周辺散策路(ポンプ小屋)</p>  <p>改修前</p>  <p>改修後</p> </div> </div> <活用> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○まち歩き</p>  <p>○講演会</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>○3館連携イベント</p> <p>・「松永安左エ門 巻岐と小田原をつなぐ講演会」を板橋の秋葉山量覚寺で開催</p>  <p>・「小田原邸園めぐり～まち歩きと喫茶を楽しむ～」と題し三館をめぐるまち歩きを開催</p>  </div> </div>			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館の敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成27年度は松永記念館別館改修工事に着手。劣化した外壁の漆喰や木部の補修、段差解消機の設置等によるバリアフリー化、展示ケースの改修、トイレの改修等を行った。 【定量的評価】 来館者数 平成23年度 21,901人、平成24年度 22,388人、平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p><別館></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○外観</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・劣化した外壁の漆喰や木部を補修 →美観の向上と建物の長寿命化 </div> <div style="width: 45%;"> <p>○段差解消機の設置</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>○展示ケースの改修</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・展示ケースのエアタイト化 →展示ケースの気密性を高め、ケース内の温湿度管理を改善 ・低反射フィルムの貼付 →展示物の反射・映り込み防止 </div> <div style="width: 45%;"> <p>○トイレの改修</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・引戸式のドアを設置 →美観維持と防音上の効果を促進 </div> </div> <p style="margin-top: 20px;"><活用></p> <p>○茶会など 平成27年11月3日 松永記念館茶会 424席</p> 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業の基幹事業)

計画に記載している内容 重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うとともに、定期的に一般に公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けた14件の民間所有の歴史的風致形成建造物指定候補について、順次、個々の物件の整備内容、及びこれを踏まえた活用等に間する所有者の意向調査・確認等を行った。
他に、歴史的風致の維持向上への貢献が有望な新たな2物件について、本指定を行った。(平成28年3月15日指定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○民有の建造物 新たに指定したもの 2件



岡田家住宅

- ・西海子小路沿いにある邸園。
- ・山縣有朋の側近であった松本剛吉の別邸。
- ・主屋とともに茶室と水路のある庭園を有している。



皆春荘(かいしゅんそう)

- ・板橋地区にある邸園。
- ・古稀庵の後方に位置し、第23代内閣総理大臣清浦奎吾の別荘として建築。
- ・1914年山縣有朋に譲られた。
- ・数寄屋風の木造建築主屋や表門、山縣設計とされ海を見晴らす芝庭を有する。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
----	--------	-----------------

史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	--	---

事業期間	平成23年度～平成32年度
------	---------------

支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業
-------	------------------------

計画に記載している内容	「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度に整備実施設計を策定した御用米曲輪について、平成26年度まで実施した発掘調査の概要報告書を刊行するとともに、平成25年度より継続して実施している修景整備工事においては、北西土塁の形状復元や地被植栽、樹木整理等を行った。また、平成元年の復元から相当の年月が経過し、経年劣化等が著しい住吉橋につき、修復工事を行うために必要な実施設計を行った。また、城内地区の公有地の一部において、修景整備を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

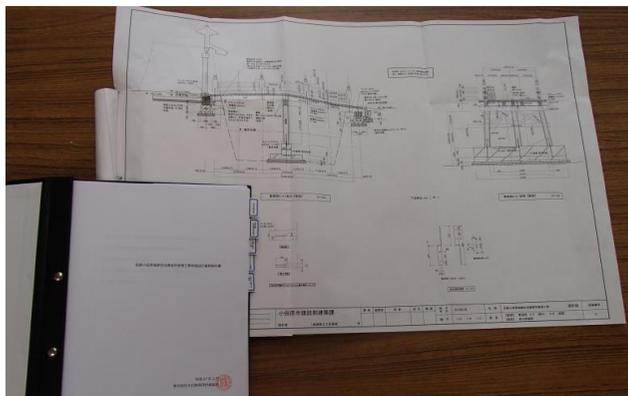
状況を示す写真や資料等



修景整備工事(北西土塁の形状復元)



刊行した発掘調査概要報告書



住吉橋保存修理実施設計成果品



城内地区公有地修景整備工事

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産である史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や、史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設の整備を順次行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度に策定した「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、全体の整備計画を策定していく必要があるが、その策定には至っていない。平成27年度は、小峯御鐘ノ台大堀切東堀において老朽化した説明看板の修復を行うとともに、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などの公有地内の維持管理を引き続き行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

草刈等日常管理を行いながら、公開活用に努めているが、今後、全体の整備計画策定を早急に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



修復を行った説明看板



大堀切東堀の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

案内板等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間 平成23年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設、更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度 邸園めぐり案内板の設置は無し。
道標は、4基を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	設置場所(民地)によっては、設置の承諾を受けるのが難しい場所がある。
--	------------------------------------

状況を示す写真や資料等

○仕様と設置場所(写真)



歴史と文化の香る散策コース
水源地付近



歴史と文化の香る散策コース
相洋高校から城山競技場上がる道付近



歴史と文化の香る散策コース
相洋高校から城南中学校に上がる道付近



歴史と文化の香る散策コース
傳肇寺山門

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
小田原文学館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25・26年度に実施した調査による成果を基に小田原文学館本館・管理棟及び白秋童謡館の改修計画を作成し、平成28年度に実施する実施設計業務委託に向けて、庁内の関係課と打合せを行っている。

西海子サロン事業については、実行委員会のメンバーを入れ替え、文学のまちづくりの新たな担い手づくりのための事業を行っている。

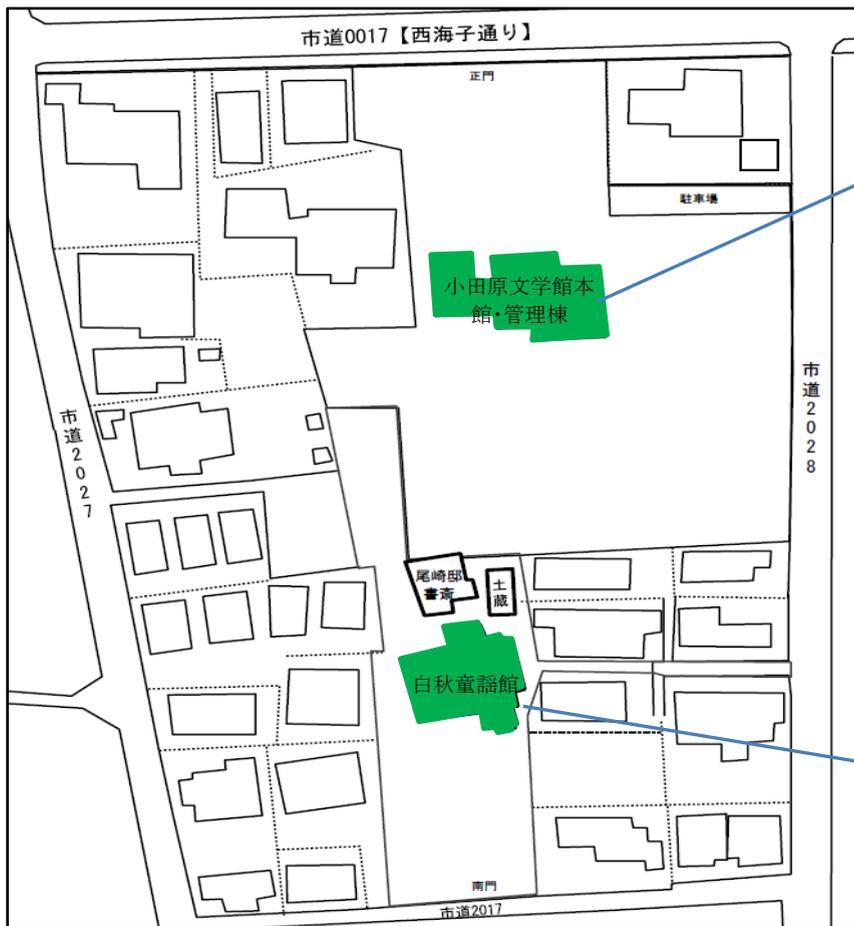
【定量的評価】

小田原文学館 来館者数

平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



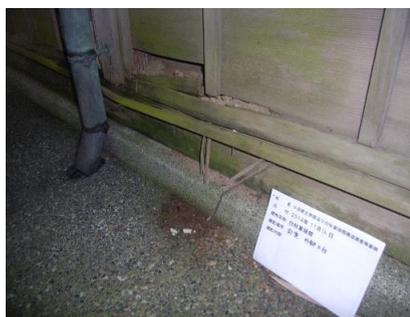
改修予定箇所・

【改修計画検討】
老朽個所の補修
耐震補強



管理棟土台束の破損

【改修計画検討】
老朽個所の補修
耐震補強
銅板屋根の葺き替え



白秋童謡館土台と下見板の破損



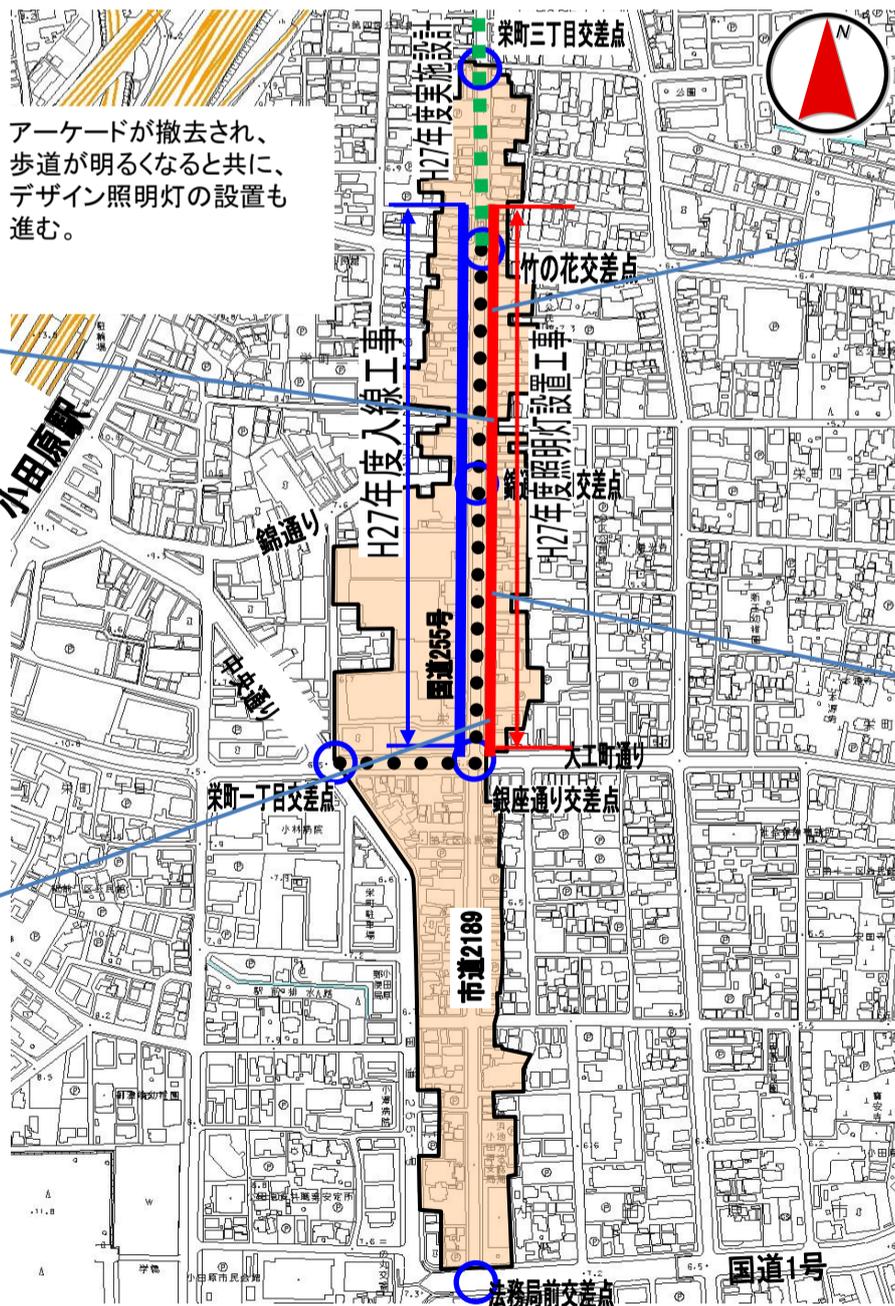
白秋童謡館2階手摺と銅板屋根の破損

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
国道255号電線地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))		
計画に記載している内容	国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
アーケードが撤去され、道路空間に広がり得られ、見通しがよくなったため、沿道の建物の修景に対する気運が高まった。			
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23～24年度 アーケード撤去工事を実施 ・平成23～24年度 水道管・ガス管移設工事を実施 ・平成24年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点間(両側) 各戸引込管工事を実施 ・平成24年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 電線共同溝工事を実施 ・平成25年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(両側) 各戸引込管工事を実施 ・平成25年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点付近間(南側) 照明灯工事を実施 電線類地中化を竹の花交差点から北へ約250m延伸することが決定 ・平成26年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(西側) 照明灯工事を実施 ・平成27年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(西側) 入線工事を実施 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 照明灯工事を実施 竹の花交差点以北、電線類地中化実施設計 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	スケジュールの遅れはあるが、電線類地中化区間の北伸も決定し、着実に進捗している。歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、要望に沿った景観上望ましいものに誘導していく必要がある。北伸部についても、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の設置などを調整する必要がある。		

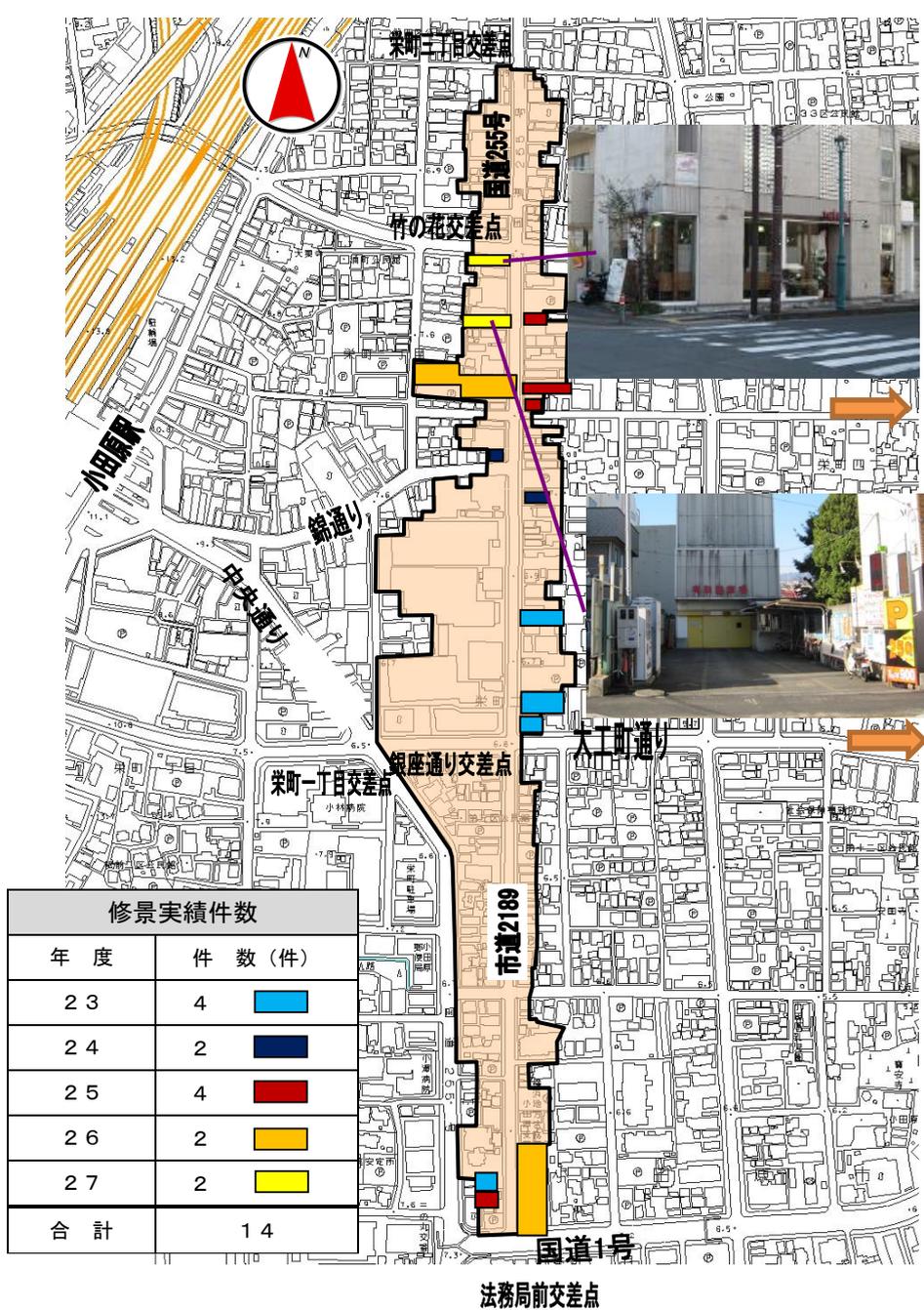
状況を示す写真や資料等

設置した
デザイン照明灯



アーケードが撤去され、歩道が明るくなると共に、デザイン照明灯の設置も進む。



評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度																
項目		現在の状況																	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																	
事業期間	平成23年度～平成32年度																		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)																		
計画に記載している内容	旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																			
小田原市街づくりルール形成促進条例に基づく「地区まちづくり基準」の認定を受けた銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会の自主的な街づくりを支援し、良好な街なみの形成を促進するため、建築物等の修景整備に係る経費の一部を助成している。 ・平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、計14件																			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修景事業について、予定通りの進捗が図れるよう、市と地元協議会と連携し、地域住民や商店主に周知するとともに、修景の実施の際には、業者や事業主と常に情報を共有し、円滑に実施出来るよう誘導していく。 そのほか、建築物の修景以外の事業についても地元協議会と協議を行い、実施を検討していく。																		
状況を示す写真や資料等																			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">修景実績件数</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 35%;">  <p style="text-align: center;">イゾーラ(外装等の改修)</p>  <p style="text-align: center;">シティーパーク小田原</p> </div> </div>				修景実績件数		年度	件数(件)	23	4	24	2	25	4	26	2	27	2	合計	14
修景実績件数																			
年度	件数(件)																		
23	4																		
24	2																		
25	4																		
26	2																		
27	2																		
合計	14																		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
祭礼等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承に必要な道具の更新を行い、歴史的風致を形成している活動の継続を図るとともに、それらの活動のPR等をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・無形民俗文化財となっている民俗芸能団体が出演する地域の祭礼や学校の農業体験学習に参加している田植歌保存団体の活動などをPRすることで、市民等に対し地域の民俗芸能の大切さについて啓発を図ることができた。
- ・小田原ちょうちん夏まつりを実施し、市内の自治会神輿によるパレードを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「根府川寺山神社の鹿島踊り」
(平成27年7月19日)



「栢山田植歌」
(平成27年6月9日)
※報徳小水稻栽培体験学習に参加

「小田原ちょうちん夏まつり」
(平成27年7月25・26日)
※自治会みこしパレードは、7月26日に実施

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定された建造物等を定期的に一般公開するため、事業運営する支援法人等に支援し、建造物の回遊、交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・登録有形文化財や小田原ゆかりの優れた建造物などについて、所有者の協力をいただき、春と秋の年2回公開した。
 - ・歴史的風致形成建造物候補である内野家住宅について、定期的な一般公開により一定の来館者数を得た。
- 平成24年度 開館日:30日 入館者数:1,211人 催事数:8
 平成25年度 開館日:59日 入館者数:1,510人 催事数:16
 平成26年度 開館日:49日 入館者数:1,244人 催事数:10
 平成27年度 開館日:64日 入館者数:1,397人 催事数:14

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財建造物春の見学会(岩瀬邸)
(平成27年6月2日～3日)



文化財建造物秋の観覧会(葉雨庵)
(平成27年11月15日)

文化財建造物秋の観覧会

公開日時 11月15日(日) 10時～15時
 公開場所
 ①岩瀬家住宅主屋 ②静山庄 ③旧古稀庵庭園
 ④老樗荘・葉雨庵

①～③はガイド協会員により随時、④は11時と14時に施設の職員による説明があります。

岩瀬家住宅主屋(岩瀬邸) 静山庄
 老樗荘 葉雨庵

元善油醸造業の内野邸(小田原市板橋 602)も公開しています。敷地内の施設で「板橋の秋葉山火砂祭写真展」も開催しています。公開日:11月7日(土)、8日(日)、15日(日)、21日(土)～23日(月休)
 入館料:150円(写真見学のみの無料)

文化財建造物秋の観覧会チラシ

「蓄音器で懐かしのレコードを聴こう」

2015年 10月18日(日)
 13:30～15:30 (開場 13:00)
 会場:内野邸穀蔵(小田原市板橋 602)
 講師:村田 淳一さん (懐かしのレコードを聴く会代表)

参加無料 定員40人 (申込先着順)

昭和初期から30年代頃までのSPレコードを中心に、歌謡曲や小田原にゆかりのある童謡など、数台の蓄音器が奏でる懐かしの音色を楽しみましょう。

申込・問合せ先 小田原市郷土文化館まで電話または直接
 小田原市城内 7-8 / ☎0465-23-1377

内野邸への行き方
 ・南原登山駅「稲橋坂横」駅下車徒歩7分
 ・稲橋登山バス「小田原」駅⇔稲橋方面 H-T線
 「上板橋」下車徒歩3分/「板橋」下車徒歩7分

【主 催】板橋まちなみファクトリー内野邸プロジェクト実行委員会

【お知らせ】次の期間には母屋も公開しています。
 10月10日(土)、11日(日)、12日(月・祝)、24日(土)、25日(日)
 (公開時間) 10:00～15:30 / (入館料) 150円

内野邸のイベントチラシ

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・板橋地区では、明治36年に建築され、土蔵造り風の町屋で和洋折衷の特徴ある意匠の元醤油製造業である内野邸(歴史的風致形成建造物指定候補)の有料公開や各種イベントの開催等、市や地域住民組織による活用等が行われている。 ・かまぼこ通り地区では、平成26年度より、地場産業活性化のため開催された祭りを主催するため、地元かまぼこ組合傘下の団体を中心に「かまぼこ通り活性化委員会」が組織され、この委員会より景観整備に関する事項などが提言され、市と積極的な意見交換を行い、平成27年度には、地元住民でもある委員とともに、まちづくりへの検討に向けた取組みについて話し合い、地元住民への声掛けなど始めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		景観施策の充実を図るために、景観計画重点区域の拡大だけではなく、「小田原市街づくりルール形成促進条例」に基づく街づくり基準の策定や地区計画など、様々なまちづくりの手法の検討を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
○板橋地区			
		定期的な一般公開やイベント等が行われている内野邸(P. 13参照)	
○かまぼこ通り地区			
※かまぼこ通り地区と地区内に残る歴史的建造物(歴史的風致形成建造物候補など)			
			
かまぼこ通り地区周辺		小田原宿なりわい交流館	
			
籠清(指定候補)	籠常(指定候補)	丸う田代(指定候補)	旧鈴廣本町店(指定候補)
※市所有である小田原宿なりわい交流館(P.15参照)や地区内に残る歴史的風致形成建造物指定候補の保存及び活用とあわせて、その周辺の景観整備の取組みに向けた方策を、地元住民とともに話し合い、声掛けなどを始めた。 ※地区内では、かまぼこわっしょい(祭り)や100mかまぼこ(ギネス認定)などが実施され、地域活性化に向けた動きがある。			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
街かど博物館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成32年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	小田原に古くから栄えた地場産業を営む店舗等を一般公開する「街かど博物館」において、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう体験プログラムなど運営を支援することにより、伝統文化の伝承への意識が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成28年1月末現在の博物館数 20館(新たに、ちん里う本店「小田原駅前梅干博物館」が平成28年1月に認定された)
- ・街かど博物館体験ツアー 平成27年度 5回開催 参加人数 第1回:6人、第2回:9人、第3回:11人、第4回17人、第5回41人
- ・街かど博物館館長連絡協議会 平成27年度 2回開催
- ・街かど博物館認定委員会 平成27年度 2回開催
- ・街かど博物館ファンクラブ会員数 (H28年3月末現在:400人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○街かど博物館体験ツアー

- 第1回 平成27年 9月 28日(月)「日本で一番港に近い駅・早川駅界隈と街かど博物館めぐり」
- 第2回 平成27年 10月23日(金)「伝統の技に五感で触れる街かど博物館めぐり」
- 第3回 平成27年11月16日(月)「東海道五十三次小田原宿と街かど博物館めぐり」
- 第4回 平成27年12月3日(木)「箱根板橋の紅葉狩りと街かど博物館めぐり」
- 第5回 平成28年3月28日(月)「春爛漫お花見と街かど博物館めぐり」



第1回体験ツアー
ひものさばき体験(ひもの体験館)



第2回体験ツアー
施設見学(倭紙茶舗)



第3回体験ツアー
和菓子作り体験
(菓子どころ小田原工芸菓子館)

○街かど博物館館長連絡協議会 (場所:小田原宿なりわい交流館)

- 第1回(通算第47回) 平成27年5月7日(木)開催
 - ・平成26年度収支決算について
 - ・平成27年度収支予算、事業計画について
 - ・街かど博物館の新規認定希望について
 - ・その他
- 第2回(通算第48回) 平成27年8月10日(月)開催
 - ・街かど博物館体験ツアーについて
 - ・街かど博物館の新規認定について
 - ・ガイドマップの改訂について
 - ・木象嵌パズルラリーについて



館長連絡協議会

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
なりわい交流館活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開館より14年が経つが、利用者数は安定した数値で推移しており、旧東海道小田原宿の拠点施設として、市民・観光客の中で定着した施設となっている。			
市民・観光客の中心市街地回遊のお休み処としての来館者数:平成28年3月末現在 34,339人			
地場産業の情報発信の場として伝統工芸品の開催:平成27年度 1回開催			
生涯学習等の各種イベント会場機能としての利用回数:平成28年3月末現在 135回			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



施設外観

【小田原宿なりわい交流館機能】

観光案内や休憩のために立ち寄っていただくことにより、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。

<2階>
イベント
スペース



<1階>
観光案内
お休み処



イベントスペースでは一般団体の展示等も行われている
※写真右は木工業の若手による展示



【小田原の伝統工芸品展】

市内外の方に伝統工芸品の魅力を体感する機会を設けること、地場産業関係者には興味を持つ客層のリサーチの場として業界の振興を図ることを目的に伝統工芸品展を開催している。

開催日:平成27年7月25日(土)～26日(日)

「季節を感じる伝統工芸品」をテーマに、小田原ちょうちん、小田原漆物、小田原漆器を展示した。

また、26日には小田原ちょうちんの製作体験も実施した。

来場者数:100名(うち、ちょうちん製作体験参加者15名)



評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
伝統的工芸品産業産地組合助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う産地団体が行う振興事業へ助成し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業に対し、助成を行った。助成の対象事業には、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

組合による従事者・後継者育成事業



組合による販路開拓事業



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
小田原散策マップ等作成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的な街なみ・施設等の案内、史実等のストーリー・回遊ルート等の紹介のための散策マップを作成し、点にする歴史的資源等の回遊を促進することで、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

おだわら散策マップ(中央版)を増刷している。
(A3判、両面印刷、4色カラー、2つ折りを巻き3つ折り、30,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板などの設置状況を現地確認したうえで、散策マップを作成(更新)している。

状況を示す写真や資料等

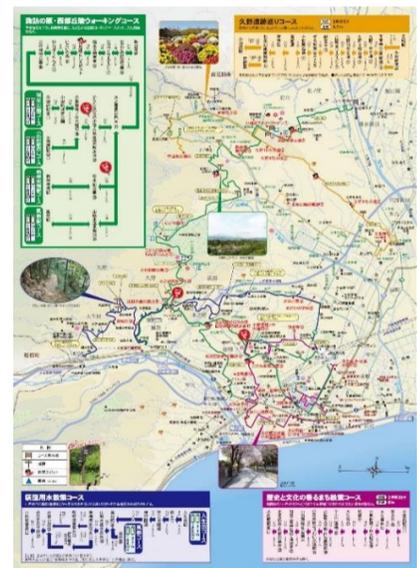
○おだわら散策マップ(中央版)



表紙



A3 表



A3 裏

○おだわら散策マップ全体のエリア



西部版

中央版

東部版

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

レンタサイクル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	--	---

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 レンタサイクルの拠点を増やすことにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能になり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年12月に小田原駅東口駐車場内にレンタサイクルの拠点を増設した。
平成26年度に貸出実績2,000台を突破し、平成27年度に至っては、昨年度以上の水準の利用をいただいております、順調に事業を実施できている。

【貸出実績】
 平成23年度:1,693台(城のみ)
 平成24年度:1,786台(城のみ)
 平成25年度:1,768台(城のみ)
 平成26年度:2,091台(城のみ)
 平成27年度:2,554台(城:1,864台、駅:690台) ※駅は、平成27年12月より開始。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	利用の頻度の高いシーズンとそうでないシーズンがはっきりしている。 また、天候の影響も大きい。
--	---

状況を示す写真や資料等

- ・小田原城歴史見聞館貸出所
保有台数:普通自転車20台
利用料金:1回300円
- ・小田原駅東口駐車場貸出所
保有台数:普通自転車19台
 電動アシスト付自転車4台
利用料金:普通自転車1回300円
 電動アシスト付自転車1回4時間まで1,000円



レンタサイクル

レンタサイクル
どるりん
小田原

NPO法人小田原ガイド協会
小田原市観光課
ゆーくり のんびり 街たんけん

小田原の爽やかな風を感じながら
観光スポット巡りをしませんか。

貸出場所	①小田原駅東口駐車場 (TEL: 070-5456-2288) ②小田原城歴史見聞館 (TEL: 0465-22-5795) ※1は平成27年12月1日OPEN!!		お願い	借りた自転車は、借りた貸出場所にご返却ください。
利用料金	普通自転車 1回 300円 電動自転車 1回4時間まで 1,000円(貸出場所は1のみ) ※保証金1,000円(返却時に返金)			
利用時間	9:00～16:30 (最終貸出は15:30まで)			
休業日	①12/31～1/1 ②5/3、12/29～1/1			

パンフレット

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
民俗芸能保存支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体に対し、普及啓発や保存の取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、例年、秋には協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催している。平成27年度は平成27年11月8日(日)に小田原市民会館で開催し盛況のうちに終了した(来場者数511名)。昨年に引き続き、「栢山田植歌」では地元2校の小学校児童31名との合唱を実現した。いままでにない盛況を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	団体間のより一層の相互交流の場とするとともに、市民や次世代を担う子どもたちにも民俗芸能の普及を図ることができた。

状況を示す写真や資料等



開会式



山王原大漁木遣唄



小田原祭囃子連絡協議会



小田原ちようちん踊り保存会



曾我別所寿獅子舞保存会



小田原囃子多古保存会



栢山田植歌保存会



根府川鹿島踊保存会



相模人形芝居下中座



閉会式



広報おだわら「おだわらいふ」10月15日号表紙へ掲載

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況

無形民俗文化財記録作成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の実態を調査をし、現在における詳細な記録を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定重要無形民俗文化財である「相模人形芝居下中座」の人形浄瑠璃や市指定無形民俗文化財の「白髭神社の奉射祭」など、市内の無形民俗文化財について、実際の披露取材し資料収集等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



相模人形芝居下中座 「傾城阿波の鳴門 巡礼唄の段」



白髭神社の奉射祭

相模人形芝居とは

相模人形芝居は、江戸時代から明治にかけて、平塚を中心とする相模半島に伝来した。平塚を中心とする相模川流域、②小田原を中心とする相模川流域、③相模川流域の伊豆半島の3つの存在に分けられる。①、その源流を遡ると、奥の山にあり、戦国時代から、戦国時代から江戸時代にかけての間に、江戸時代より引き継ぎ活動が続いてきた。江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。

相模人形芝居の継承

江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。江戸時代、厚木藩の御用・長谷川の三郎は、人形の操作を専門とする「御用芝居」を営み、その子孫が、現在に伝えている。

下中座の新しい歩み

平成26年度、厚木市「下中座人形芝居」を開設した。その活動の中から17名の若手として抜擢された。平成27年度、厚木市「下中座人形芝居」を開設した。その活動の中から17名の若手として抜擢された。平成27年度、厚木市「下中座人形芝居」を開設した。その活動の中から17名の若手として抜擢された。

【白髭神社の奉射祭について】

小田原市重要無形民俗文化財(昭和56年3月30日指定)

(奉射祭の起源)

鎌倉時代初期頃の豪族中村景平公が、文治6年(1190)1月7日『思沙之的を射る式(奉射祭)』を奉納したことが始まりと言われています。824年前から行われている神事です。

(奉射と流鏝馬との相違点)

疾駆する馬上から矢を射る作法が流鏝馬で、徒で矢を射る作法が奉射ですが、神事の場合は「奉納の奉・奉る」の「奉」の字を当て「奉射」と云います。

(目的)

奉射祭には、悪魔退散が目的の単なる厄払いの行事と、その年に吉凶を占う神事の2種類ありますが、白髭神社の場合は、五穀豊穡を占う神事です。

(的と鳥形)

的の大きさは、直径約2m、竹ヒゴを編み、その上に美濃紙や石州紙などの和紙を貼ります。的の中心より渦巻状に16周の線が描かれています。的の上部には、境内の榎の枝で作った鳥形(通称・ツバメ)を3個吊るし、神楽殿の前に西向きに立てます。

(射手)

射手は世襲で白髭神社と拘わりの深い小宮家の本家と分家の当主が勤めます。

(奉射の作法)

弓・矢・的・御敷米・鳥形を神前に供えて宮司祝詞奏上、射手がお威いを受けた後、的は神楽殿の前に西向きに立て、射場と的の中間に散米所を設けます。先ず、本家当主が3本の矢を用意して位置に着き、第一矢を弓につがえます。この時、分家の当主が的の前に御敷米を撒くと同時に矢が放たれます。これを繰り返して本家の当主が3本の矢を放ちます。ここで射手が分家の当主に交代して3本矢を射ます。更に本家の当主が1本矢を射り、計7本の矢を放ちます。矢の命中具合で、その年の五穀豊穡を占います。

弓矢は、一時既製品を使用しておりましたが、平成21年正月から手製の弓矢を使用する伝統的作法に則る神事となっています。

(的破り)

最後の矢が放たれると、的に吊るされた鳥形を奪い合う「的破り」となります。従来は、老人から子供まで鳥形の争奪に参加しましたが、現在は安全上小学生以下の児童に限られています。この鳥形を持ち帰り戸口に吊るして鷹くと厄除けとなり、一年中幸運に恵まれると言われています。以上

相模人形芝居下中座の資料(抜粋)

「白髭神社の奉射祭」の資料(抜粋)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況

文化財の総合的把握・育成支援事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的価値の高い文化財を総合的に把握する仕組みを構築する。それらの活用を図り、携わる団体、個人を育成する取組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道祖神や石仏、年中行事、地域の史跡に関するものなど、既に行われた調査の一部を確認した。

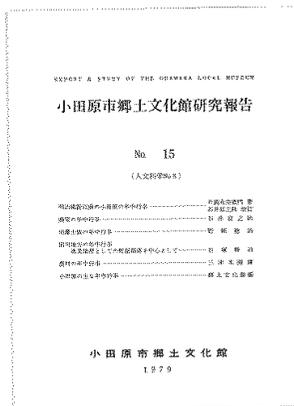
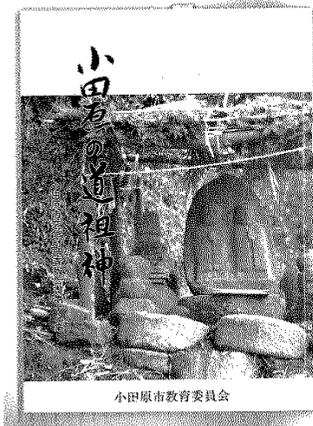
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

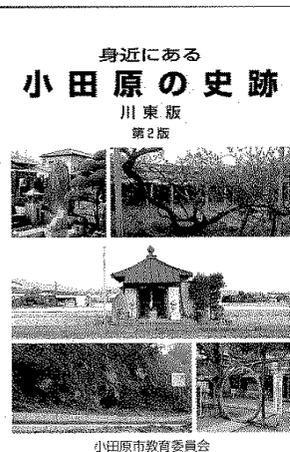
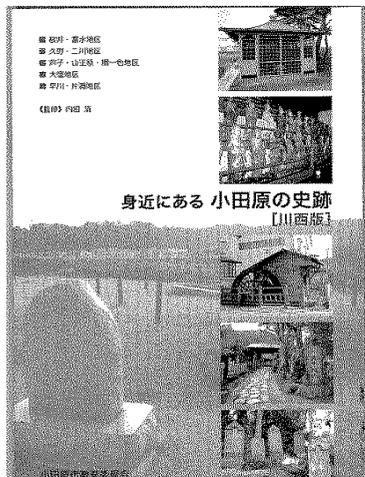
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後の実施手法等について検討していく。

状況を示す写真や資料等



以前刊行された調査報告書の一部
 ・「小田原の道祖神」(S60.3.30) ・「小田原の野仏たち」(S61.3.31)
 ・年中行事関連の報告〔郷土文化館研究報告No15〕(S54.3.31)
 ※いずれも小田原市教育委員会発行

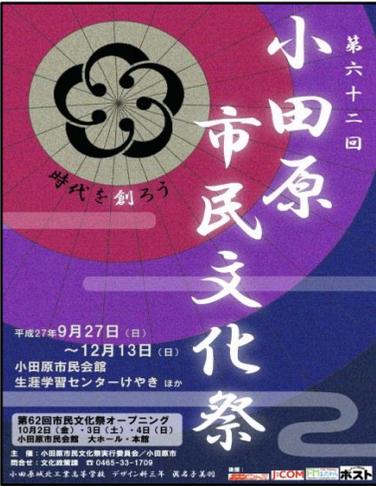


民俗芸能「多古白山神社の小田原囃子」

「身近にある小田原の史跡」川西版(S20.3.31)
 同川東版(S21.3.31)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
			現在の状況
伝統行事・伝統文化啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統文化に関わる普及啓発のためのイベントの開催やパンフレットなどの製作を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小田原市民文化祭における伝統文化発表会等の開催(吟剣詩舞道大会、いけばな諸流展など) 伝統文化のワークショップの開催(能楽ワークショップ 2/6 24人) 小学校での伝統文化のアウトリーチ事業(長唄2校 10/22,11/5、844人 狂言1校 10/27 145人) 小田原市民会館での松竹大歌舞伎公演(9/1 1288人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○長唄アウトリーチ 	○狂言アウトリーチ 	○松竹大歌舞伎公演 	
○能楽ワークショップ 	○小田原市民文化祭 (いけばな諸流展) 	○小田原市民文化祭 	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度
文化財の指定		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在している。本市の歴史的風致の維持向上のために、重点区域に集中的に存在する文化財の保存・活用を図ることが必要であり、関連法令に基づく保護措置を図るとともに、計画的な修理や整備を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「江戸城石垣石丁場跡」として、「早川石丁場群関白沢支群」を史跡に新規指定すべく、平成27年度に、関係地権者、国、県等との協議のうえ、意見具申書を国に提出し、文化審議会から答申をいただいた。3月1日付官報告示により、「小田原城跡」、「石垣山」に続き市内3箇所目の史跡となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

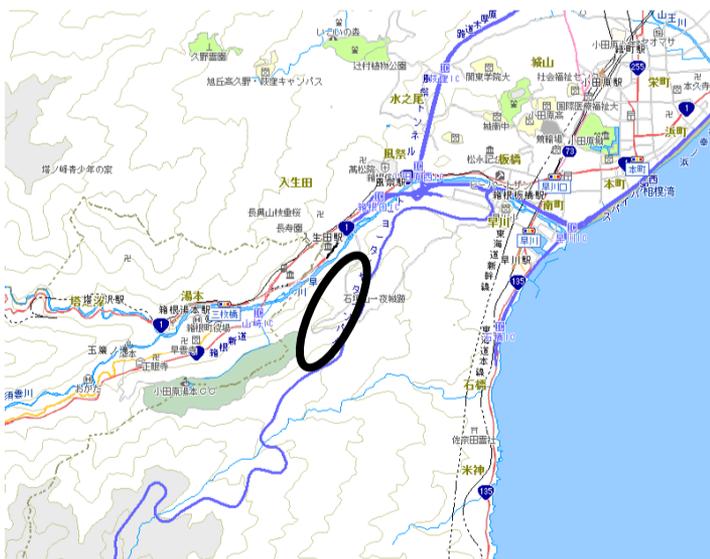
状況を示す写真や資料等



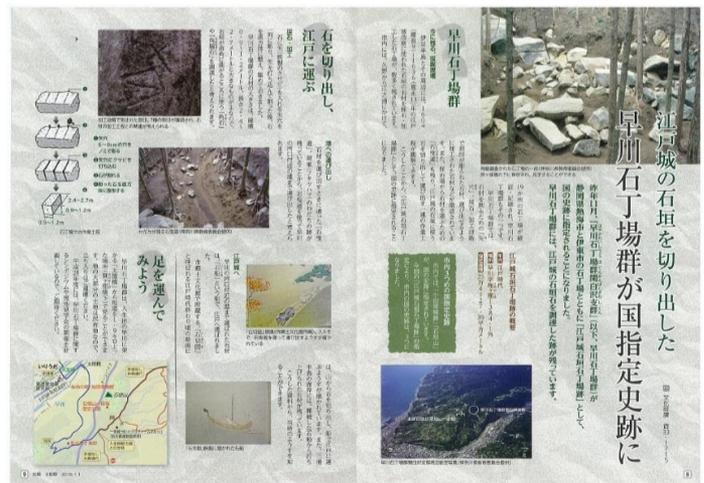
江戸城石垣石丁場跡
(早川石丁場群関白沢支群)



江戸城石垣石丁場跡
(早川石丁場群関白沢支群)



位置図



広報小田原1月号への掲載

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)及び防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
登録有形文化財である清閑亭を、平成23年度に策定した改修計画に基づき、建物(西棟)の構造補強や壁改修などの改修を行った。(P. 3参照) 史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を進めた。(P. 6参照) また、1月26日の「文化財防火デー」の近辺で、市内の文化財に係る避難誘導・消火活動などの消防訓練、消防による設備点検や防火指導を実施するとともに、広報誌等で文化財防火についての啓発を呼びかける。平成27年度は、平成28年1月20日に小田原文学館の消防訓練を行うとともに、1月20日から21日にかけて7か所の文化財所有者を消防・文化財課が訪問し、設備点検・防火指導を実施した。 消防訓練や防火指導、啓発記事の掲載などにより、文化財所有者・管理者・市民に対し、文化財愛護に関する意識の普及・文化財防火・防災意識の高揚が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p><修理(整備を含む)></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清閑亭</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>御用米曲輪</p> </div> </div> <p><防災></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>消防訓練 (平成28年1月20日 小田原文学館)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>設備点検・防火指導 (平成28年1月21日)</p> </div> </div>			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、また、文化財建造物や寺社に保存されている指定文化財の公開等の事業を開催した。
 次世代を担う子どもたちにも興味・関心を持ってもらうため、文化財公開事業について、校長会で取り上げてもらうとともに、併せてチラシ等の配布も行い、小中学校への情報提供と子どもたちへの学習機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財建造物春の見学会(岡田邸)
 (平成27年6月2日～3日)
 参加者数40名



宝金剛寺 秋の文化財公開文化財公開
 (平成27年11月14日～15日)
 参加者数183名



文化財建造物秋の観覧会(老櫓荘・葉雨庵)
 (平成27年11月15日)
 来場者数374名



最新出土品展
 (平成27年11月14日～29日)
 来場者数828名



遺跡調査発表会
 (平成27年11月29日)
 来場者数178名

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
来館者10万人を達成 小田原の清閑亭 開館から5年2カ月で	平成27年8月6日	神静民報
食べて聴いて夏満喫 かまぼこ通りに活気 <小田原>	平成27年8月23日 ほか	神奈川新聞、神静民報ほか
鬼と呼ばれた男 松永安左エ門 (放送90年ドラマ 経世済民の男③)	平成27年9月19日 21:00~22:00放送	NHK総合
世界記録でギネス認定 400人で87メートルのかまぼこ 小田原で	平成27年10月6日	神静民報、TVほか多数
小田原の石丁場跡国指定史跡に答申	平成27年11月21日	朝日新聞、毎日新聞ほか
「街かど博物館」に梅干店 小田原の老舗 歴史紹介	平成28年1月14日	読売新聞、神奈川新聞ほか
ブラタモリ「#28 小田原」	平成28年1月23日 19:30~20:15放送	NHK総合

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

清閑亭保存整備活用事業(P.3)、松永記念館整備活用事業(P.4)、街かど博物館活用事業(P.15)、文化財の指定(P.24)や関連する事業について、報道された。
 イベント等の開催時には、行政側から積極的な情報提供をすることで取材があり、開催内容など報道されることでイベントへの関心を高めた。
 ・TVの人気番組である『ブラタモリ』にて、歴史的風致と関連の深い小田原城総構や小田原用水などが紹介され、広く周知された。
 ・小田原市が各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数 ※()内は依頼・相談のあった件数
 H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、H27:101件(179件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

「街かど博物館」に梅干し店
小田原市の老舗 歴史紹介

小田原市内の老舗や工場の博物館「街かど博物館」に、2023年11月14日、読売新聞が「街かど博物館」に梅干し店を開業したと報じた。記事によると、梅干し店「梅干し屋」は、小田原市街かど博物館の1階に開業した。梅干し屋は、小田原市街かど博物館の1階に開業した。梅干し屋は、小田原市街かど博物館の1階に開業した。

○平成28年1月14日付
読売新聞

来館者10万人を達成
小田原の清閑亭 開館から5年2カ月で

10万人目の来館者を達成した清閑亭。開館から5年2カ月で、来館者数が10万人を達成した。清閑亭は、小田原市街かど博物館の1階に開業した。清閑亭は、小田原市街かど博物館の1階に開業した。

鬼と呼ばれた男
放送90年ドラマ 経世済民の男

主演 吉田鋼太郎
松永安左エ門

9月19日(土) 夜9:00~10:00
NHK総合

○平成27年9月19日
21:00~22:00放送
NHK総合(ドラマ)
《番組リーフレット》

食べて聴いて夏満喫
かまぼこ通りに活気 小田原

かまぼこ通りは、小田原市街かど博物館の1階に開業した。かまぼこ通りは、小田原市街かど博物館の1階に開業した。

○平成27年8月6日付
神静民報

世界記録でギネス認定
400人で87メートルのかまぼこ 小田原で

小田原市街かど博物館で、400人が参加して、87メートルのかまぼこを作った。世界記録でギネス認定された。

○平成27年8月23日付
神奈川新聞

総勢410人が世界最長の板かまぼこ作りに挑戦

小田原市街かど博物館で、410人が参加して、世界最長の板かまぼこを作った。

○平成27年10月6日付
神静民報

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目

職人育成推進事業

計画に記載している内容
文化財の修理及び整備は、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図るため詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。
歴史的建造物の建築様式など、その特徴を顕著に示す意匠や装置の記録・保存・管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

(仮称)「小田原職人学校」の設立に向けて組織された「小田原職人学校設立推進協議会」において、26年度国土交通省所管歴史的風致維持向上等推進調査を受託して行った、地域における技術継承や職人の存在形態等に合致した研修の実施、及びこれによる実質的な歴史的建造物の改修を進めるための仕組みづくり等に向けた検討調査を踏まえ、27年度、本市において実現可能な職人育成研修の具体的な実施方策(経費負担のあり方・研修の企画・実施手法等)、研修推進組織の形態・機能、これと行政との連携方策等について具体的な検討を加えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

平成28年度以降、計画に「実践型職人育成研修等推進事業」を位置づけ、実際の歴史的建造物を教材にその改修整備と職人研修とを一体的に推進する実践型職人育成研修等推進事業に着手する。

状況を示す写真や資料等

実践型職人育成研修等推進事業の実施内容

- ①歴史的風地形成建造物等の維持保全等に関する相談窓口の設置
- ②重点区域内における職人育成研修の実施

【相談窓口の設置】

所有者・管理者等から

助言・支援

適正な維持管理、改修、有効な保全・活用等

情報収集

歴史的風地形成建造物保全・活用の制度づくりための基礎データ取得等

受付

職人育成研修による改修の実施希望

職人等から

助言・支援

適正な物件の施工方法
必要な設計士等の紹介等

受付

職人育成研修提案
職人組合等からも公募

【職人育成研修の実施】

所有者の改修希望と職人の研修提案をマッチング
職人の研修提案と教材物件をマッチング
独自企画を立案し所有者や関連する組合等に逆提案

* 研修の企画・実施

研修内容の確定、材料の確保(地元産材主体)
所有者との調整、講師の選定・依頼
景観計画等との整合性の確認、申請手続き
一般見学者の公募
効果測定・課題抽出

教材候補物件の例



研修による改修の事例

さらさら下見板張りの修復(平成26年度歴史的風致維持向上推進等調査で実施)

右: 施工前 中: 施工中 左: 改修部分拡大



評価対象年度 平成27年度

項目

小田原城天守閣耐震改修工事

計画に記載している内容

市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

天守閣は、1960年に再建されてから50年以上経過していることから来館者の安全確保のため耐震改修を行なうとともに、空調設備の整備や展示リニューアルなどを行っている。

- ・耐震改修等工事に伴う天守閣の休館(平成27年7月から平成28年4月下旬)
- ・天守閣休館期間中(平成28年4月まで)の既存施設を活用した誘客対策の実施
 - 銅門特別公開(7/1～土日祝日)、常盤木門にて戦国武将展(7/18～9/23、入場者数25,313人)
 - 常盤木門内にて北条五代と武具甲冑展(10/17～3/31)、忍者・武者・梅丸のお出迎え(10/10～3/31)
 - 手裏剣投げ体験(10/10～3/31)、工事フェンスへ古写真展示、
 - 摩利支天像空間再現に関する見学会・木育ワークショップ等の開催

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



天守閣耐震工事前



天守閣耐震工事中



銅門



戦国武将展



北条五代と武具甲冑展



工事フェンス古写真展示



展示イメージ図



摩利支天像空間イメージ図



摩利支天像

項目

小田原産木材の活用

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原の地域産木材利用の拡大を試みており、小田原産木材住宅リフォーム助成事業(床材新築・リフォームへの助成及び腰壁材リフォームへの助成、上限30万、H27:9件)を実施した。
 ・平成27年度は、おだわら森林・林業・木材産業再生協議会を中心に、製材業、大工職などの職人と連携し、本庁舎3階廊下で「木の空間展示」を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



小田原産リフォーム材(フローリング)



小田原産木材による机・椅子



小田原産木材を使用した市本庁舎「木の空間展示」
 (小田原地区木材業協同組合、小田原大工職組合、おだわら工匠会との連携)

評価軸⑥-4
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目

歴史的風致に関する意識啓発

計画に記載している内容
行政内部において関係部局が協調して取り組むこととし、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みを行う。
事業実施においては、事業担当課が関係団体や個人と連携し、国や県など協議しながら実施するものとする。市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致に関する意識啓発のため、職員向けに研修を実施した。
・市新採用職員研修プログラムの中の「体験学習」の一つとして実施。
・新採用職員29名を対象。
・都市セールス(広報)や歴史まちづくりの概要の講義、コア資産である史跡小田原城跡と周辺まち歩きの実地研修。
・実地研修のまち歩き体験は、実際に活動しているNPO法人に現場案内の協力を依頼。
事前に課題を付与することで、歴史まちづくりに対する認識、歴史的風致に関する視点を持ちやすくする工夫をした。市外出身者(約半数)も多いため、実地研修として体験することで、記憶として定着させることが出来た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修(平成27年5月13日実施 新採用職員を対象 29名受講) カリキュラム

集合時間	7:15	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
8:50	バスにて本庁舎へ移動	オリエンテーション	都市セールス	歴史まちづくりの概要	バスにて小田原駅へ移動	昼休み		小田原城址見学 小田原まち歩き観光コース体験(案内付)			バスにて本庁舎へ移動



【実地】史跡小田原城跡
市文化財課職員による説明

【実地】のまち歩き体験については、通常のまち歩き観光コース(なりわい、邸園)の2コースを短縮版として一つの行程として、同一行程を2グループに分けて実施した。
イヤホンによるNPO法人小田原まちづくり応援団の案内のもと、各施設の内覧等した後、歴史的風致形成建造物である清閑亭にて集合、まとめ学習を実施した。



【実地】まち歩き体験
Aグループ案内: 平井丈夫氏(NPO法人小田原まちづくり応援団理事長)



【実地】まち歩き体験
Bグループ案内: 内藤英治氏(NPO法人小田原まちづくり応援団常務理事)

評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 平成27年度

項目

関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議の開催(小田原)

計画に記載している内容 事業実施においては、事業担当課が関係団体や個人と連携し、国や県など協議しながら実施するものとする。市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成27年10月8、9日の両日、小田原市を開催都市として、国土交通省関東地方整備局主催による「関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議」が開催された。国や県担当者、関東圏の認定都市とともに今後歴史的風致維持向上計画策定を目指す市町村担当者が集まり、都市間の情報共有や連携を図ることが出来た。1日目は、国3省庁より制度説明、地方整備局より補助制度等の紹介、下諏訪町・小田原市から事例紹介や意見交換会を行った。2日目は、開催都市である小田原市にて、歴史まちづくりの取り組み状況のわかる、コア資産である史跡小田原城跡、歴史的風致形成建造物である清閑亭、松永記念館、なりわい交流館などを中心に現地視察を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○推進会議(平成27年10月8日開催 63名出席) 場所:小田原市民会館 小ホールにて



開会(主催者あいさつ)

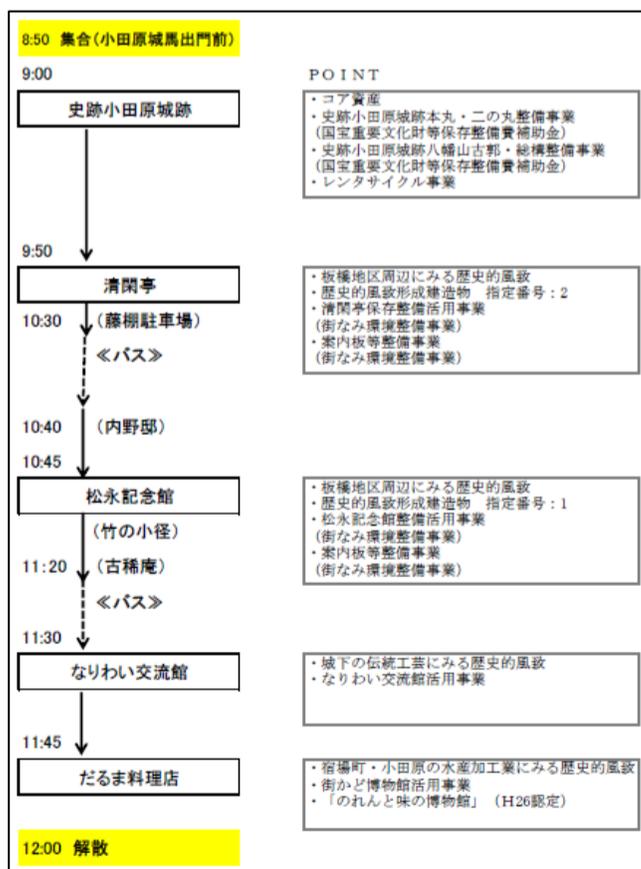


国より情報提供など



小田原市の事例紹介

○現地視察(平成27年10月9日開催 35名参加) 場所:小田原市内にて



史跡小田原城跡(コア資産)



清閑亭(歴史的風致形成建造物)

行程表(A班の例) ※A・B班に分け実施

項目

歴史まちづくりの効果

計画に記載している内容 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深め、歴史的建造物や伝統文化の継承や人々の交流人口の拡大や観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 重点区域内における修景整備件数の増加
 - ・これまで実施されなかった重点区域内における建築物等の修景整備が着実に実施されている。
H22:0件、H23:6件、H24:2件、H25:6件、H27:2件 計16件(件数は施設数ごと。複数年整備は初年度にカウント。)
- 入込観光客数及び各施設入館者数の増加
 - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣や歴史的風致形成建造物に指定した松永記念館、清閑亭、小田原文学館3館合計の入館者数が増加している。
※詳細は下記を参照。
 - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物候補(内野家住宅)について、定期的な一般公開により一定の来館者数を得ている。(P.13参照)
- 庁内部局間、県内自治体間、認定都市間での連携強化
 - ・歴史的風致建造物3館連携イベントの実施 ・各事業関連のまち歩き観光の実施
 - ・自主的な用水路整備 ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施
 - ・関東圏歴史まちづくりサミットへの参加 など
- 歴史的風致に関する啓発事業の実施(独自の取組)
 - ・歴史まちづくり研修の実施(担当職員及び新採用職員向け、講義と実地まち歩きによる研修) ・庁内通信の発行 ・一覧表等作成による「見える化」 ・広報(特集や歴史的風致連載コラム)への掲載 ・ケーブルテレビへの出演 など

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

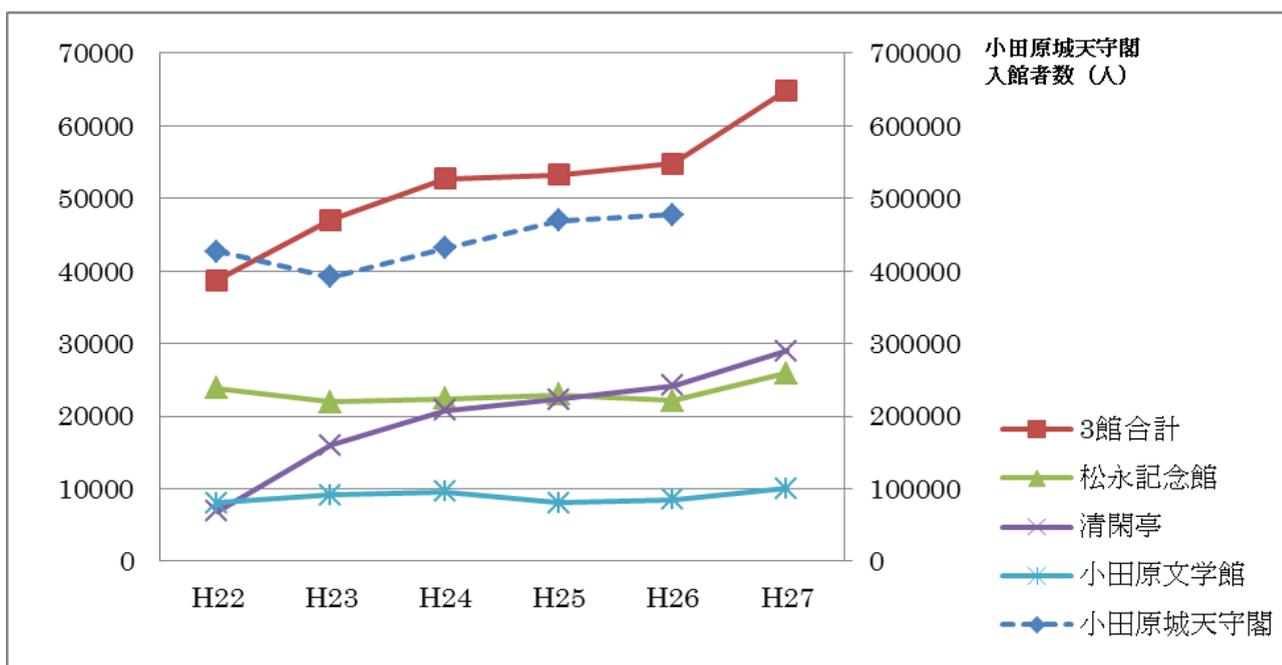
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設来館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	-
小田原城天守閣入場者数(人)	427,119	392,146	431,798	469,183	477,131	148,325
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,086	25,918
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937

※H27の小田原城天守閣入場者数は、耐震改修工事(P. 29参照)により平成27年4月～6月のみ。
(平成27年7月から平成28年4月までは工事のため休館)



小田原城天守閣入場者数と歴史的風致形成建造物3館の入館者数

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成27年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成27年12月25日(金)午後2時から (会場:小田原市役所6階601会議室)	
(コメントの概要)	
<p>■取り組み全般に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が全ての事業を実施できる訳ではないので、市の事業を呼び水として、民間の動きへ広まることが理想である。 ・街なみ環境整備後に、どのように小田原の歴史を感じてもらうか、歴史的背景など伝える仕掛けを工夫する。 ・訪問客の様々なニーズ(まち歩きによる健康維持、歴史的風致に触れる、食べ歩きなど)に合わせ、事業も連携できると良い。 ・小田原は、建築や食文化など様々な職人の質が高いものが存在しているが、意外と知られていないことが多く、奥深さをアピールすれば、日帰り観光などのニーズとしてある。 ・ハルネ小田原の来訪者の多くはかなり遠くから来ており、ここを拠点に広く情報発信をすることで、さらにその外への誘導が可能である。 <p>■各評価シートに対するコメント</p> <p>【進捗評価シート③-2 松永記念館整備活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の内野家住宅なども含め案内し、リピーターとなって再度来訪してもらいたい。 ・寄木関係のイベントが盛況であり、小田原の「魅力」的なものを積極的に発信することが重要である。 <p>【進捗評価シート③-3 歴史的風致形成建造物等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともに別荘文化の貴重な建物群であり、公開し多くの人に見てもらうことは、大変喜ばしい。 ・建物内へ入場することだけでなく、数寄屋風建築は和風で開放的なので、建物内が見えるだけでも十分価値がある。 ・清閑亭と同様に、新たに指定する建物について、県の邸園文化祭などとも連携すると良い。 <p>【進捗評価シート③-8 国道255号電線地中化事業】</p> <p>【進捗評価シート③銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単に景観が良くなったということだけでなく、職人の技術が活かされるなど、少しでも歴史が感じられる整備をする必要がある。 <p>【進捗評価シート③-13 街かど博物館活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も認定数を増やすことが、市の観光客を増やす1つの方法である。 <p>【進捗評価シート④-16 小田原散策マップ等作成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体だけでなく、スマートフォンなどのマップアプリと連動し、施設名など表示できると良い。 ・モバイル端末を持つ人が増えているので、市内様々な場所への誘導が可能となる。 <p>【進捗評価シート④-17 レンタサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前が新設され、利便性が良いことから、利用者が増えており、ここを拠点に市民や観光客の利活用が図れると良い。 ・観光の目的ではなく、渋滞対策や環境対策、健康維持など様々な観点からPRすることで、利用を増やすことが出来る。 <p>【進捗評価シート④-18 民俗芸能保存支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体へのイベント等出演依頼が増えている。 ・後継者育成発表会では子どもも参加しているが、後継者不足については、各団体の課題となっている。 <p>【進捗評価シート④-1 文化財の指定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早川石丁場の史跡指定について、同様の石丁場のある熱海市や伊東市と連携し、散策ルートの設定やパンフレット作成など、幅広くPRしていくと良い。 <p>【進捗評価シート⑥-1 職人育成推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物の修復風景そのものを公開すると良い。 ・数寄屋建築や庭園など職人しか知らない事実があり、この部分を丁寧に翻訳し、ガイド案内を通じ、市民や来訪者へ伝えていくことが市の役割として重要である。 <p>【進捗評価シート⑥-6 歴史まちづくりの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入込観光客数や施設来館者数など比較的把握しやすい数値とともに、活動している市民団体からの情報など幅広く収集するとより効果が見える化する。 ・3館の入館者数の推移など各施設における状況について、多角的に分析する必要がある。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・職人育成に関しては、本計画の方針を達成するための事業として、改めて位置付けをするとともに、現在位置付けている他の事業、関連の事業と併せての実施や、修復風景の公開などにより、職人の技術の伝承とPRなど、効果の高い取り組みとなるよう工夫したい。 ・新たに指定する歴史的風致形成建造物を公開する際は、他の取り組み(3館連携事業など)と連携することで、効果的な歴史的建造物の保存と活用の推進を図りたい。 ・歴史的風致をはじめ、地域資産のその背景となる部分も含めて、多くの人に伝えていくため、観光施策と連携し、市民や訪問客のニーズに沿った情報発信に努めていく。 	